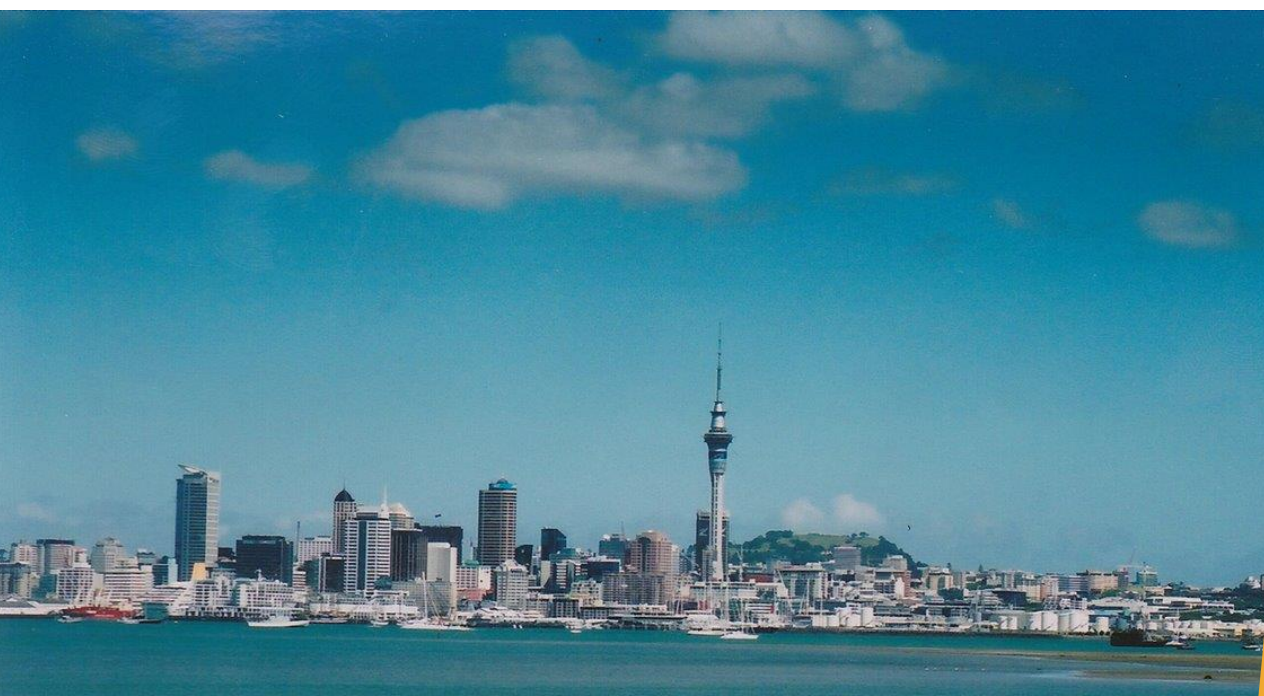


ニュージーランド

オークランド市



対岸から見るスカイタワーとオークランド市街

宇都宮市の姉妹都市第 1 号であったニュージーランドのマヌカウ市は 2010 年に合併し、スーパーシティ・オークランド市となりました。マヌカウ市は「区(Ward)」となり、引き続きオークランド市と姉妹都市として交流を続けています。



オークランド市と姉妹都市になるまで

1982年2月24日、
旧マヌカウ市(現オークランド市)と姉妹都市を提携しました！

宇都宮市の姉妹都市交流は、1979年に就任した増山道保宇都宮市長が「これからは国際化の時代になる。宇都宮市も国際化に備えたまちづくりを進めなければならない。そのためには、居ながらにして外国人と交流できるよう姉妹都市を提携し、市民の皆さんにも国際性を身につけていただくことが大切だ。」として施策の重要課題に掲げ、姉妹都市交流に関心を持つ市民が参加し、1980年に姉妹都市提携市民会議を設置し、候補都市の選定を始めたことがスタートでした。

市民会議では姉妹都市の条件として、

1. 英語圏であること(中学生以上が英語を学んでおり、言葉が通じること)
2. 近いこと(訪問する際に日数がかからず、旅費も安くすむこと)
3. 都市の規模が同じであること(栃木県の県都であるから、相手都市も同規模程度が交流しやすいこと)
4. 国情が安定していること(国情が安定していないと、交流の継続が期待できないこと)

を掲げ、カナダ・エドモントン市、ニュージーランド・オークランド市、オーストラリア・アデレード市の3都市を候補都市として、宇都宮市に要望しました。

これを受けて宇都宮市では、改めて調査委員会を設置し、各市に文書依頼や各大使館の助言を得て、エドモントン市とオークランド市の2市に調査団を派遣し(アデレード市は回答なしのため除外)、現地調査を行いました。その結果、オークランド市に隣接するマヌカウ市が提携に積極的であったことから、1981年12月の市議会において全会一致で賛成と議決され、1982年2月に宇都宮市の各界各層の代表30名からなる提携調印団をマヌカウ市に派遣し、マヌカウ市議事堂において調印式が行われました。こうして宇都宮市の姉妹都市第1号が誕生しました。以来、マヌカウ市とは、オークランド市との合併前の1982年から2010年の約28年間の長きにわたり交流を続けてきました。

2010年11月、ニュージーランドの行政改革の一環として、オークランド市とマヌカウ市を中心に近隣8つの自治体の大規模な市町村合併が行われ、スーパーシティ・オークランド市が誕生しました。新たに当選したオークランド市長(前マヌカウ市長)は、引き続き宇都宮市との姉妹都市としての交流を継続することを決定し、今日に至っています。

オークランド市との交流

1982年の姉妹都市の提携以来、両市で行われてきた交流事業のあらましを紹介します。

姉妹都市提携調印団の派遣と再調印式

1982年、増山道保宇都宮市長夫妻、木村明市議会議長夫妻をはじめ、市民の代表30名の訪問団が姉妹都市の調印のためにマヌカウ市を訪れ、多くのマヌカウ市民が見守るなか、マヌカウ市議事堂において調印式が行われました。初めてニュージーランドを訪れた調印団のメンバーは、マヌカウ市内の各施設や学校訪問及び一般家庭でのホームステイを通してニュージーランドの生活を体験し、市民同士の交流を深め、両市の相互理解と友好親善に務めて帰国しました。

2003年2月、提携20周年の記念事業として福田富一宇都宮市長、黒後久市議会議長をはじめ、公募により参加した一般市民と作新学院吹奏楽部のメンバーなどの総勢178名の訪問団が、チャーターしたジャンボジェット機で福島空港からマヌカウ市を訪問。再調印式を行うとともに、日本文化の紹介や原住民マオリ文化の体験などの交流の他、700名が出席した歓迎会など、マヌカウ市から大歓迎を受けました。また、2022年2月には提携40周年を迎え、新型コロナウイルス感染症の流行により相互訪問はできませんでしたが、オンラインで両市長がこれまでの友好関係を継続していくことを改めて確認しました。



オークランド市長を囲む宇都宮市民訪問団

市民訪問団の派遣と受け入れ

交流事業の柱として、相互理解と友好親善をスローガンに、両市民の交流を図るため、隔年ごとに市民訪問団の派遣と受け入れが行われてきました。マヌカウ市時代には、市の主催や団体が行ったもの等、14回の派遣と12回の受け入れ事業が行われていました。オークランド市に合併してからは、2013年1月に宇都宮市から市民訪問団15名がオークランド市長を表敬訪問し、9日間の滞在中にニュージーランドの「Japan Society of Auckland」の皆さんをはじめ、オークランド市民と今後の交流事業について話し合いする等、交流を深めました。



オークランド市民とBBQを楽しむ宇都宮市民

中学2年生の派遣と高校生の派遣と受け入れ

青少年交流の柱として、世界に目を向けた視野の広い中学高校生の育成を目指し、宇都宮市内の中学2年生を当初は30名から100名を、その後は20名前後を公募し、夏休みを利用した2週間程度の期間でマヌカウ市へ派遣する体験学習事業を毎年実施してきました。派遣生はホームステイをしながら現地の学校へ通学するなどの体験学習をしました。また、高校生については、交換留学生としてマヌカウ市と宇都宮市の両市間で派遣と受け入れの事業を実施してきました。1987年の宇都宮市からの第1回の派遣では、約10か月間、2名の高校生が派遣されました。その後2009年までの間、公募した5名から10名程度の高校生が、約2～3か月の期間、交換留学生として現地で学んできました。

オークランド市となってからは、中学生の体験学習事業は継続実施されましたが、高校生についてはこれまでのような交換留学ではなく、2013年以降、公募した10名程度を約10日間、受け入れ先の中高一貫校のマヌレワ高校へ中学生と同様に体験学習生として派遣しています。中学高校生の派遣は、綿密な事前研修を経て人に頼らない自立心を養う事業として定着し、中学高校生に人気のある事業となっています。

2019年12月から2022年は、世界に蔓延した新型コロナウイルス感染症のため、残念ながら交流事業は全て中止となりましたが、2022年は姉妹都市提携40周年を迎えた記念事業として、これまでに派遣した中学高校生から当時の思い出文や写真を募集し、栃木県総合文化センターにてパネル展示会を開催して、多くの宇都宮市民の皆さんにオークランド市への中学高校生の派遣事業を知っていただきました。また、その記念誌の編纂も行いました。

その他の交流

この他にも、各種青少年団体リーダー研修生の派遣や市民吹奏楽団の派遣と受け入れ、ラグビーチームの派遣と受け入れ、全国大会優秀成績者(ピアノ・合唱・箏曲・バドミントン・マラソン・ボウリング等)の招待派遣、児童・生徒の絵画作品の募集と各国巡回絵画展の開催、中学校英語指導助手(ALT)の招致受け入れなどの文化・スポーツ交流が行われてきました。



2018年度中学2年生の派遣 結団式

派遣生の声(中学生)

印象に残っている体験はいろいろあるが、マヌレワ高校での英語での授業はとても新鮮で、バディやクラスの子が積極的に話しかけてくれたので、英語をすべて理解できなくても緊張なく話すことができた。また、昼休みがとても長く、みんなは体育館でバスケをしたりするのでもざてもらい、一緒にやるととても楽しい。ホームステイ先のママたちは温かい雰囲気でもて迎えてくれて、ご飯もラムなどのとてもおいしい現地の料理を食べることができた。(2019年度 中学2年の派遣生)

オークランド市のあらし

歴史 ～ニュージーランドの成り立ちとオークランド～

先住民マオリの文化を色濃く残す多民族国家！

オークランドは、マオリ語で「タマキ・マカウラウ(百人の恋人の地)」と呼ばれ、先住民のマオリ族が1300年以降に住み始めたといわれています。

1642年、初めてヨーロッパ人としてニュージーランド、マオリ語で「アオテアロア(長く白い雲の土地)」というこの地を訪れたのは、オランダ人のアベル・タスマンです。その後に訪れたヘンドリック・ブラウエルが母国オランダのゼーランド州にちなみ、ラテン語で「Nova Zeelandia(新しい海の土地)」と名付けました。1769年、イギリスの探検家ジェームス・クックが調査を行った際、英語で「New Zealand」と読んだのが、今の国名の始まりだとされています。

以来、ヨーロッパ人による捕鯨活動が開始され、ヨーロッパからの移民が増加し、先住民との間に土地を巡る争いが始まりました。この紛争の解決のため、1840年2月6日、イギリスが先住民マオリとの間にワイタンギ条約を締結し、ニュージーランドはイギリスの直轄植民地となりました。

1841年、ニュージーランドの初代総督となったイギリス海軍のウィリアム・ボブソンがマオリ族から寄贈された土地をオークランドと命名し、ニュージーランドの首都と定めました。1865年に首都がウェリントンに移されましたが、オークランドは北島最大で多様な文化が混ざり合う国際都市へと成長しています。

ニュージーランドは、1907年にイギリス連邦内の自治領となり、1947年11月に独立しました。そして、戦後のニュージーランドは農産物輸出国として、また世界に先駆けて高福祉国家として発展してきました。その後、1970年代のオイルショック後の経済不況の中で、多くの国営企業の民営化を図るなど世界でも例を見ない行政改革を実施してきました。

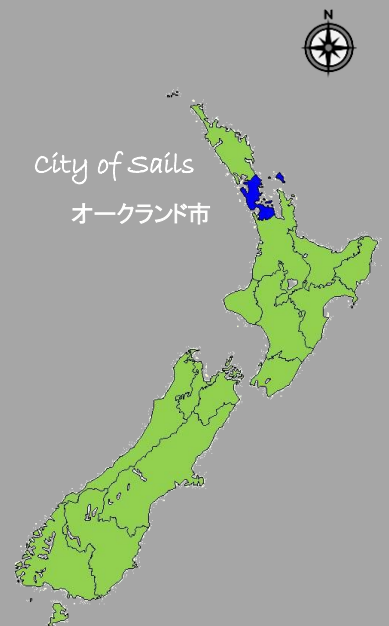
1990年代以降、特に環境問題を重視して温暖化対策にも積極的に取り組み、また観光と自然保護の両立を目指すエコツーリズムの取り組みがなされています。



民族衣装を身につけたマオリ族の女性

派遣生の声(高校生)

今回オークランドに行かせて頂くにあたり、自分の英会話力や、日本との文化の違いについて不安がありました。しかし、事前研修会での英会話の授業や、宇都宮市、オークランド市について学んだことで、大きな期待と共にニュージーランドへ行くことができました。ホームステイ・学校生活・施設訪問を通して、日本とは違うニュージーランドの文化の良さ、人柄のフレンドリーさ、生態系の歴史等、多くのことを知ることができました。同時に、多文化を知ったことで、自分の暮らす町や日本の文化と比較し、より深く考えることもできました。(2019年度 高校1年の派遣生)



オークランド豆知識

人口	約170万人
面積	約4,941 km ²
位置	東経174度47分 南緯36度51分
気候	海洋性気候
気温	夏季19℃、冬季12℃ ※ 平均気温
時差	+3時間 (10月～3月は+4時間)
公用語	英語・マオリ語
通貨	ニュージーランド・ドル 1NZD=約84円 (2023年3月時点)



シダ植物「シルバーファーン」



マオリ族の集会所「マラエ」



「ティキ(Tiki)」

地理と気候 ～夏は涼しく 冬は暖かい 自然に恵まれたリゾート地～

オークランド市は、東に太平洋に続くハウラキ湾、南東に低いフヌア山脈、南西には浅瀬の入り江であるマヌカウ湾、西から北西にワイタケレ山脈に囲まれたユニークな地形に広がっています。

都会でありながら、美しい湾や海岸、数々の火山などの豊かな自然に恵まれ、周辺には 65 余りの島々、そして市内及び近郊には 50 以上の休火山や死火山があり「火山の街」とも呼ばれています。「マウント・イーデン(標高 196m)」はオークランドにある休火山の中でも最も高く、広大な公園「コーンウォール・パーク」内にある「ワン・ツリー・ヒル(標高 183m)」も有名な休火山のひとつです。

海洋性気候に属しているニュージーランドは南半球に位置するため、日本とは季節が逆で、南に行くほど寒くなります。オークランドは「1 日の中に四季がある」ともいわれ、1 日の天候が変わりやすいのが特徴ですが、年間を通しては穏やかな気候です。夏は涼しく快適で、冬も強烈な寒波がなく、1 年中様々なレジャーを楽しむことができます。

概要 ～ニュージーランドのビジネス・商業の中心～

オークランド市は人口約 170 万人(2023 年時点)にのぼる国内最大の都市で、ニュージーランドの人口の約 3 分の 1 を占めるといわれています。市民の約 40%が海外からの移住者で、150 以上の民族が暮らすグローバルなモザイク都市であり、また、世界最大のポリネシア人の居住人口を抱える都市です。比較的若い人が多く、人口の約 3 分の 1 が 25 歳以下で構成され、生活・文化・観光・ビジネスにおいて想像力溢れる街でもあります。

2011 年に男子のラグビーワールドカップ、また 2022 年には女子のラグビーワールドカップがオークランドで開催され、世界一周ヨットレース「ジ・オーシャンレース」の寄港地としても知られています。美しい港や海岸が織りなす見事な自然環境に恵まれ、多彩なレクリエーションの場としても親しまれ、2021 年にイギリスのビジネス誌が発表した「世界で最も住みやすい都市」の第 1 位に選ばれました。ニュージーランド最大の国立大学で 1883 年に設立された「オークランド大学」は、イギリスの大学評価機関が公表する世界大学ランキングで常に上位 100 校に入る名門校のひとつです。

オークランド市は 3 つの港に囲まれ、海上交通が栄えました。また、ニュージーランドの空の玄関口であるオークランド国際空港は市街中心地から約 20km のところにあり、航空機による日本からの所要時間は、東京(成田空港)からオークランド(オークランド空港)まで約 11 時間です。

市政

2010年にニュージーランドの行政改革によって、スーパーシティー・オークランド市が誕生しました。合併後の新オークランド市長には、マヌカウ市長であったレン・ブラウン(Len Brown)氏が就任しました。

オークランド市の市政は、市議会と 21 の地区委員会で構成されています。市議会議員は 20 名で、13 の区(Ward)から選出されています。

就任当時、レン・ブラウン市長は「豊かに繁栄し、誰でも受け入れ、世界中の人々が訪れたいと願う、自然からの贈り物を大切に作るエコロジカルな都市づくり」を目指しました。レン・ブラウン市長は 2 期目の任期終了後に退任、その後 2016 年フィル・ゴフ(Phil Goff)市長が就任、さらに 2022 年 10 月ウェイン・ブラウン(Wayne Brown)市長が就任し現在に至っています。

観光

オークランドは、ビジネス、経済はもちろん観光の拠点として知られています。

ニュージーランド・ステートハイウェイ1号が

市内を南北に縦断しており、自動車の保有率も高くなっています。

見どころとしては、南半球で一番高い「スカイタワー(高さ 328m)」、火山の噴火口跡を残し市内を一望できる「マウント・イーデン(標高 196m)」、マオリ文化やニュージーランド固有種の動植物、世界大戦などの歴史コレクションの宝庫であり南半球最大級の「オークランド戦争記念博物館」、「ケリー・タルトンズ・シーライフ水族館」、「ニュージーランド海洋博物館」、ニュージーランドの固有種の国鳥キウイバードが見られる「オークランド動物園」と観光施設には事欠きません。また、ニュージーランドの国民的スポーツであるラグビーの聖地「イーデンパーク・スタジアム」はオークランド郊外にあります。

世界各国からの観光客、学生やビジネスマンなどで活気に溢れるクイーン・ストリートを中心とするダウンタウンエリアは、お土産店やブランドショップが立ち並びショッピングが楽しめます。カラフルなヨットや豪華客船が停留するヴァイアダクト・ハーバーは、City of Sails 帆の街オークランドを感じられ、夜には街と港の明かりが美しい場所となっています。

市内中心部と北オークランドのノース・ショア地域を結ぶハーバー・ブリッジを渡って古い港町デボンポートを訪ねたり、ブドウ園が広がり品質の良いワインを産出するワイヘキ島や火山島のランギト島など、周辺の島々行きのフェリーに乗って郊外へ出かけてみるのも良いでしょう。

歴史的にイギリスの影響も受けているため、イギリスの定番メニュー「フィッシュ&チップス」は、オークランドでも至るところで食べられます。また、ニュージーランドは羊の数が人の数より多いといわれ、ラム肉料理が有名です。その他、ニュージーランドに自生し、先住民マオリ族が「癒しの木・復活の木」と呼ぶ「マヌカ」の木の花から採れる蜂蜜「マヌカハニー」も知られています。

区 (Ward)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ① Albany | ⑧ North Shore |
| ② Albrt-Eden-Roskill | ⑨ Orakei |
| ③ Franklin | ⑩ Rodney |
| ④ Howick | ⑪ Waitakere |
| ⑤ Manukau | ⑫ Waitemata and Gulf |
| ⑥ Manurewa-Papakura | ⑬ Whau |
| ⑦ Maungakiekie-Tamaki | |



オークランド戦争記念博物館



火山島「ランギト島」

宇都宮市の姉妹文化友好都市を、 あなたはいくつ知っていますか？

宇都宮市の現在の姉妹文化友好都市は5都市です

ひとつ目は、【姉妹都市】 **ニュージーランド・オークランド市** です。

1982年、当初は、オークランド市に隣接するマヌカウ市と姉妹都市提携をしました。
その後、2010年11月にマヌカウ市を含む近隣の市町とオークランド市が合併し、人口150万人を超える都市「オークランド市」となりました。合併後も宇都宮市との姉妹都市交流は変わることなく活発に続けられ、2022年に姉妹都市提携40周年を迎えました。

2つ目は、【友好都市】 **中国・齊齊哈爾市** です。

中国東北部、黒竜江省の州都ハルピンに次ぐ第2の都市です。
かつて、戦前に宇都宮の連隊が長く駐留しており、戦後も多くの市民の皆さんが交流を続けていた関係で、1984年に友好都市として提携しました。

3つ目は、【姉妹都市】 **フランス・オルレアン市** です。

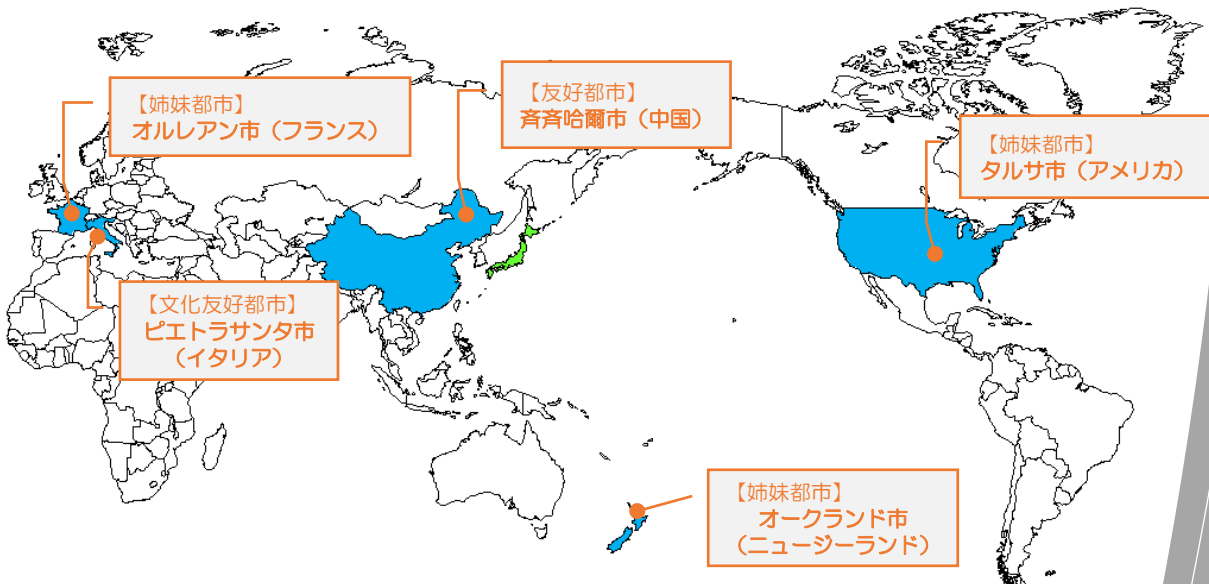
ジャンヌ・ダルクが救った町として有名な歴史都市オルレアンは、近代都市へと改革を進める中で、当時、宇都宮市東部地区に建設を目指していたテクノポリス(産学住が一体となった先端技術産業都市)に関心を寄せ、内陸最大の工業団地を持つ宇都宮市と姉妹都市提携をしたいとの要望があり、1989年に提携に至りました。2019年に姉妹都市提携30周年を迎えました。

4つ目は、【姉妹都市】 **アメリカ・タルサ市** です。

文部省(現在の文部科学省)の国際理解教育指定校であった宇都宮北高校とタルサ市にあるブッカー・T・ワシントン高校の交流が前提となって、両校関係者の要望と尽力により、1992年に提携しました。2022年に姉妹都市提携30周年を迎えました。

5つ目は、【文化友好都市】 **イタリア・ピエトラサンタ市** です。

大理石の町としてミケランジェロの時代から有名だったピエトラサンタ市から、大谷石の町として知られていた宇都宮市と石を通して交流したいと申し入れがあり、1995年に文化友好都市として提携しました。






鼻と鼻、額と額をあわせるマオリの挨拶

宇都宮市の姉妹文化友好都市シリーズ I
ニュージーランド オークランド市

発行日 初 版 2015 年 9 月 30 日 ・ 第 2 版 2022 年 3 月 1 日
第 3 版 2023 年 4 月 30 日

発行者  NPO 法人宇都宮市国際交流協会
宇都宮市姉妹文化友好都市パンフレット作成実行委員会
〒320-0026 宇都宮市馬場通り 4-1-1
うつのみや表参道スクエア 5 階(宇都宮市国際交流プラザ内)
Tel 028-616-1870 Fax 028-616-1871
Email ucia@ucia.or.jp <https://www.ucia.or.jp/>